

公共ホール音楽活性化事業
2025・2026 年度登録アーティスト実地研修 実施要領

1 趣旨

2025・2026 年度登録アーティストが、実際に公共ホール職員と協働してアウトリーチプログラムを実践することにより、アーティストの能力向上、ホール職員の育成およびクラシック音楽による公共ホールと地域の活性化に寄与することを目的とする。

2 対象団体

令和5年度までに公共ホール音楽活性化事業又は公共ホール邦楽活性化事業を実施し、かつ、原則として10年以内に公共ホール音楽活性化事業又は公共ホール邦楽活性化事業を実施した団体

3 実施団体の決定

地域創造は、上記2の団体から提出された「公共ホール音楽活性化事業 2025・2026 年度登録アーティスト実地研修 申請書」（別記様式）等をもとに審査し、3団体を実施団体として決定の上、当該団体に対して速やかに通知する。

4 実施内容

(1) 実施日程

令和6年12月から令和7年3月のうち、連続した2～3日間

(2) 研修会場

公共ホール及び域内小学校

(3) プログラム

① 1日目：ランスルーとプログラムの作り込み

アーティストが自ら考えたアウトリーチの実演と、それに対するコーディネーターによる指導、アーティスト間及び公共ホール職員とのディスカッションなどを行い、アウトリーチプログラムを作り上げていく。

② 2日目・3日目（※）：アウトリーチの実践と振り返り

小学校でのアウトリーチを実際に行い、その後振り返りを行う。

※3日間のスケジュールで行うのはアーティストが3組の場合のみ

<スケジュール例>

1日目		2日目			
	アーティスト A	アーティスト B		アーティスト A	アーティスト B
13:00～	現地入り・ミーティング @リハーサル室等		1時間前	学校入り・リハーサル	
			2 or 3 時限目	アウトリーチ	見学
16:00～	ランスルー(演奏)	見学	3 or 4 時限目	見学	アウトリーチ
17:00～	見学	ランスルー(演奏)	昼食		
18:00～	コーディネーターによるアドバイス ディスカッション @リハーサル室等		5時限目	アウトリーチ	見学
			6時限目	見学	アウトリーチ
			振り返りミーティング		

※アーティストが3組の場合は、3日目の午前までアウトリーチを行う。

5 アーティスト

2025・2026年度公共ホール音楽活性化事業登録アーティストから、2～3組程度のアーティストを公共ホールへ派遣する。

なお、派遣アーティストは、地域創造において決定する。

6 経費負担

下記経費を地域創造が負担する。

- ・ピアノ調律費（アウトリーチ会場で使用するピアノ）
- ・アーティスト旅費
- ・伴奏共演者旅費及び謝金・コーディネーター旅費及び謝金
- ・楽器運搬費

7 提出書類等

本事業の実施を希望する団体は、別紙「留意事項」を参照のうえ、「公共ホール音楽活性化事業 2025・2026年度登録アーティスト実地研修 申請書」（別記様式）に実施予定会場のパンフレット等を添えて、令和6年9月19日（木）までに提出すること。